

小論文 解答例（追試験用）（ 1枚の1 ）

令和4年度

本問は、牧野カツコ（2020）「コロナ禍の家庭生活と家庭科」の一節を読み、設問に解答することを通して、受験者の

- ・日本語の文章読解力・理解力の状況
- ・日本語の文章構成力の状況
- ・日本の家庭科教育の特徴や概要の基礎的理解の状況
- ・生徒理解や教員等の教育職に就くことの捉え

等を見ることを目的としている。

問1 コロナ禍で家にいることをストレスと感じる生徒がいるが、その原因は何だと思うか。考えられる原因を述べよ。

<解答のポイント>

例えば、ア.在宅による家族との関係性、イ.対外的・対面的な交流・活動の制限やマスクの着用による心身の影響、等に見られる、これまで過ごしてきた日常生活が送れないことなどから派生する「ストレス」について、高校生の生活の文脈から具体例を挙げて論じられているか。

問2 問1を踏まえ、家庭科教育の中で、家庭生活をよりよくするためにどんなことができると思うか。あなたの考えを述べよ。

<解答のポイント>

家庭科教育の中で学んできた衣食住生活の工夫や、生活の豊かさや楽しさの創出に係る事項が挙げられているか。また、自分の生活を見直したり、人との関わり方について改めて考えてみたりすること等も含まれる。

問3 問2で述べた教育をするために、家庭科教員としてどのような資質が必要だと思うか。あなたの考えを述べよ。

<解答のポイント>

想定される解答例としては、家庭科教員自身が、日常生活についてあらゆる側面から関心をもつことができること、生徒をはじめとする人々の生活課題等について、想像力を働かせることができること、問題解決のための具体的な方策について、考えることができること、対人・対物コミュニケーションについて教材化を検討しようとする構えがあること等が考えられる。